

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 %, 県 %)

領域別平均通過率

設問ごとの平均通過率(算数)

【グラフの貼り付け方】調査結果入力ファイルの「領域別平均通過率」「設問ごとの平均通過率」で作成されるグラフをコピーして使用する。(方法：グラフを画面に表示し、「PrintScreen」キーを使用して貼り付けると画面がそのままコピーされるので、ワードで「貼り付け」「トリミング」「サイズ変更」等の操作を行って調節する。)

全国学力・学習状況調査 本年度正答率

A問題

B問題

右クリック、グラフオブジェクトの編集で数値を入力

重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

◎

今回調査の重要課題と捉える領域、あるいは設問を挙げ、誤答を分析し、児童のつまずきを明記
(通過率が30%未満あるいは、無回答の割合が高い設問から絞る。)

◇

(例：算数) 複合図形において面積を求める式を立てる問題に課題がある。点線の部分の長さを求めることができない児童が38.7%。(通過率50.1%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業等)

◎

今までの指導を振り返り、長期的な視点で、児童にどのような力を付けるのかを明記 (通過率30%未満の児童に対する具体的な手立てを記入)
(例：算数) 図形の一部を求めさせる活動を取り入れ、求めたい図形の面積を求めるには、どの辺がわかればよいか考えさせる。また、毎週金曜日の△△タイムには、図形領域の問題に取り組み、定着を図る。

◇

重点課題を中学校区の課題としてとらえ、小中一貫して取り組む内容を必ず明記
(例：算数) 小中一貫した取組については、…。

◎「基礎・基本」	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	5年生 復習テスト		4年生 復習テスト		4・5年生算数テスト (自校作成)	4年生 H28「基礎・基本」	4・5年生 学年末テスト
目標値	60.0%		70.0%		80.0%	80.0%	85.0%
実施後数値							
◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	6年生 小テスト			5年生 H28 「全国学力」			5年生 単元末テスト
目標値	60.0%			60.0%			70.0%
実施後数値							

3月22日までに、実施後数値を入力し、ホームページを更新する。

来年度に向けて

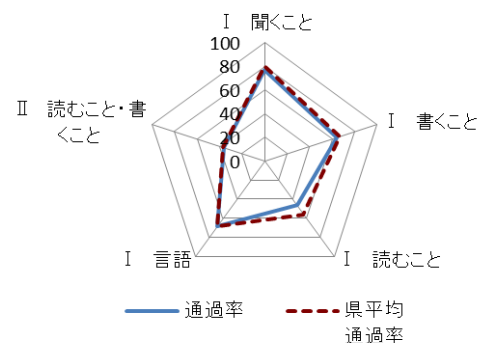
これまでの取組の課題とこれからの取組の方向性を明記
(例：算数) 図形領域では、定着が不十分と考えられるので、今後も復習を継続する。
※年間の取組後に記入

指導方法等の改善計画について [国語]

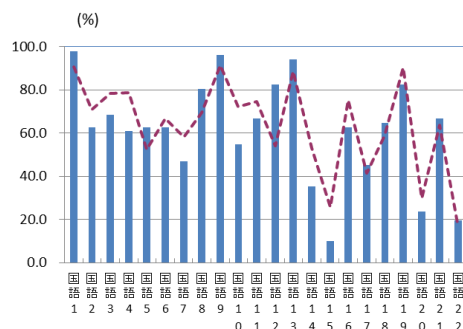
「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校61.2%, 県63.7%)

領域別平均通過率

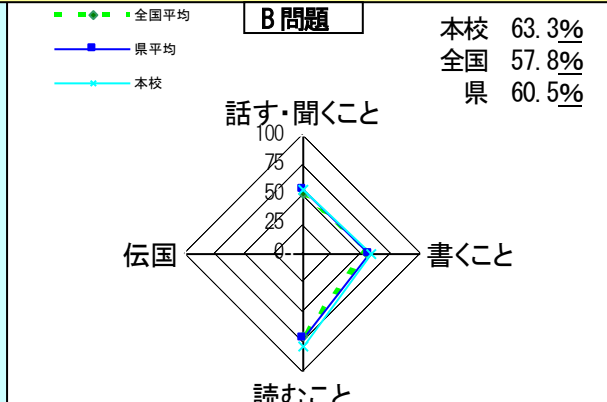
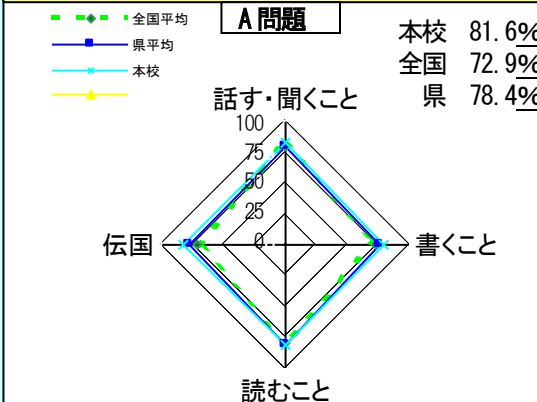
領域別平均通過率(国語)



教科別の平均通過率



全国学力・学習状況調査 本年度正答率



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

- ◎説明的文章を正確に読み取り、中心となる語や文を把握することに課題がある。(9.8%)
- ◎問いに対しての必要な情報を取り出し、理由や事例を挙げて記述することに課題がある。(19.6%)
- ◇2つの資料を関連付け、条件に合わせて記述することに課題がある。(45.1%)
- ◇文学的な文章を読み、複数の表現の中から叙述を基に捉えることに課題がある。(66.7%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業等)

- ◎長い文章を正確に読み取り、段落を超えた複数の文や語の中から、筆者の主張につながる中心となる語や文を整理し、まとめて書く活動に繰り返し取り組む。
 - ◎資料の内容を読み取り、資料と教材文の関連性を考えさせるとともに、膨大な情報の中からでも必要な情報を的確に取り出し、様々な条件に合わせて記述する学習を取り入れる。
 - ◇表やグラフ、メモ等の資料を関連付け、共通点や相違点を見つける学習を行うとともに、条件に合わせて記述する学習を取り入れる。
 - ◇文学的な文章を読む際に、複数の叙述を基にして捉える学習を取り入れる。
- ※小中一貫した取組については、目的に応じて必要な情報を取り出し、関連付けて条件に沿って表現する学習活動を取り入れる。

◎「基礎・基本」	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	5年 H28直し	5年 H28直し	5年 類似問題	5年 H28問題	4・5年 標準学力調査	4年 過去問題	4年 学期末テスト
目標値			80%	85%	80%	80%	85%
実施後数値			78%	82%	77% (4年) 75% (5年)	83%	90%

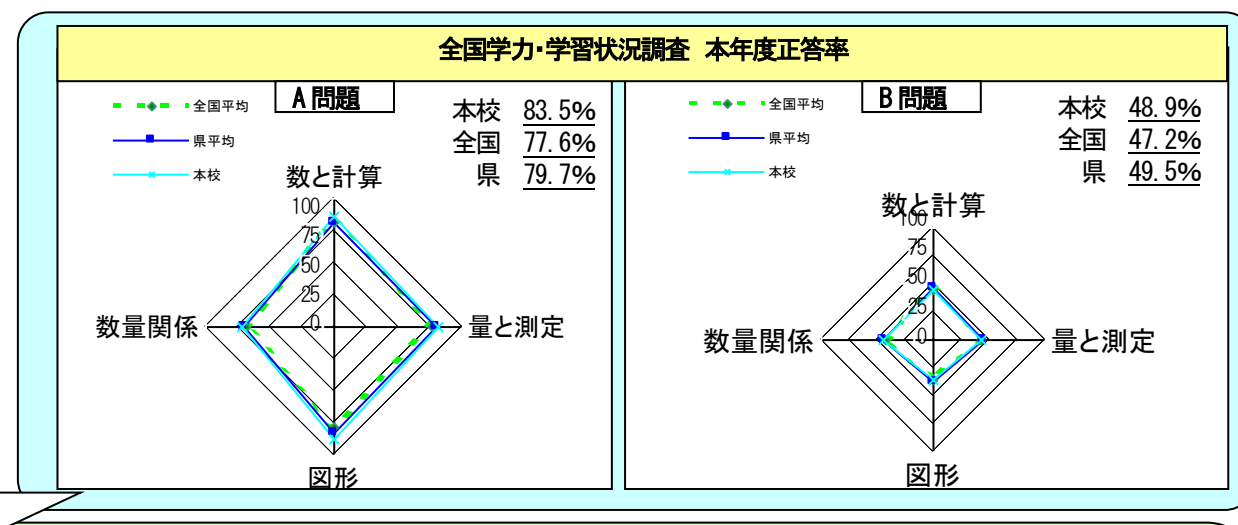
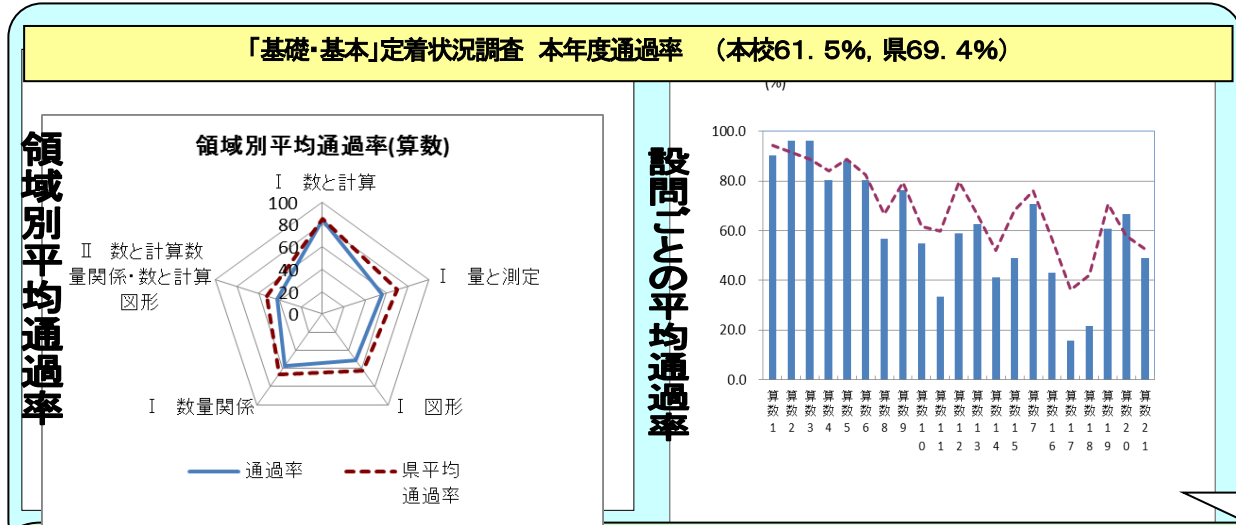
◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	6年 H28直し	6年 H28直し	6年 A問題の類似問題	6年 B問題の類似問題	5・6年 標準学力調査	5年 過去問題	5・6年 学期末テスト
目標値			80%	75%	80%	80%	85%
実施後数値			88%	68%	75% (5年) 80% (6年)	70%	82% (5年) 91% (6年)

来年度に向けて

目的に応じて中心となる語や文を捉え、相互に関連付けて書く力を付けるとともに、文章を推敲する力を付ける。

目的に応じて、複数の本や文章などを比べて読み、筆者の考えや意図を捉える力を付ける。

指導方法等の改善計画について [算数]



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

◎複合図形の面積を，図形の定義や性質を使って，示されていない辺の長さを導いてから，立式することに課題がある。(33.3%)

◎折れ線グラフと棒グラフを関連させて考え，条件にあっているかを判断し，それを記述することに課題がある。(21.6%)

◇示された式の中の数値の意味を解釈し，それを記述することに課題がある。(15.7%)

◇示された式と図形とを関連づけ，図形の構成要素を元に式の意味の説明を記述することに課題がある。(5.9%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業等)

◎問われたことに対して，必要な情報を的確にとらえるとともに，どの情報をどのように活用すればよいのか，情報を整理しながら考えられるようにする。

◎授業の中で，ノート指導を通して，自分の考えを一つ一つていねいに記述することを積み重ねる。

◇問題から，書かれている内容をていねいに読み取らせ，複数の情報の比較により共通性や相違性を明らかにしたり，関連付けたりして考えられるようにする。

※小中一貫した取組については，基礎的・基本的な算数・数学用語を繰り返し学習させて定着を図るとともに，必要な情報を取り出したり，複数の資料を関連付けて分析したりする学習活動を取り入れる。

◎「基礎・基本」	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	5年 H28直し	5年 H28直し	5年 類似問題	5年 H28問題	4・5年 標準学力調査	4年 過去問題	4年 学期末テスト
目標値			80%	85%	80%	80%	80%
実施後数値			72%	81%	71% (4年) 66% (5年)	81%	88%

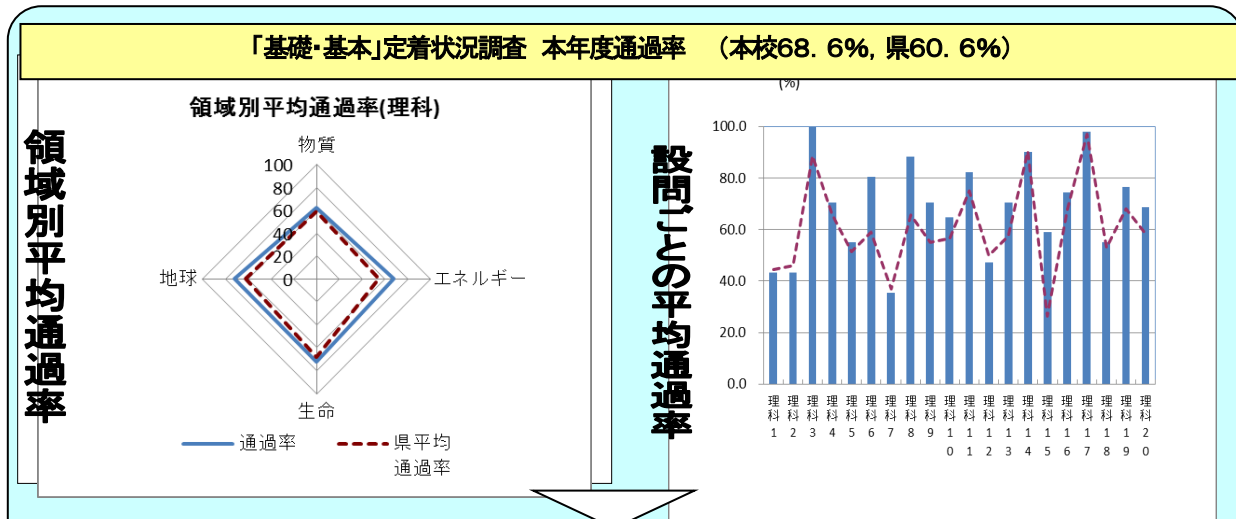
◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	6年 H28直し	6年 H28直し	6年 A問題の類似問題	6年 B問題の類似問題	5・6年 標準学力調査	5年 過去問題	5・6年 学期末テスト
目標値			90%	60%	80%	80%	80%
実施後数値			91%	70%	66% (5年) 75% (6年)	68%	76% (5年) 89% (6年)

来年度に向けて

基礎的な学力の定着を図る。

文章問題を解くとき，図と式を関連させ，筋道を立てて説明できる力を付ける。

図形の定義や構成要素等を判断の根拠として活用できる力を付ける。



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

◎①物質の磁石と電気に対する性質の理解に課題がある。(通過率35.3%)

◎②体積という用語の理解や、物の重さと体積の関係の理解に課題がある。(通過率43.1%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業等)

◎①磁石と電気の物質に対する性質をそれぞれ学習した後、整理させる。身の回りの物質を数多く取り上げて実験を行い、理解を深める。

◎②理科用語の意味を繰り返し確認し、概念定着を図る。

※小中一貫した取組については、基礎・基本的な理科用語を繰り返し学習する機会設けて定着を図るとともに、比較の観点を明確にして予想させ、観察、実験の結果をもとに自分の言葉で考察する学習活動を積極的に取り入れる。

◎「基礎・基本」①	9月 5年 H28 直し	10月 5年 H28 直し	11月 5年 類似問題	12月 5年 H28問題	1月 4年 過去問題	2月 4年 過去問題	3月 4・5年 学期末テスト
学年・方法							
目標値			80%	85%	80%	80%	85%
実施後数値			75%	80%	76%	77%	77% (4年) 79% (5年)

◎「基礎・基本」②	9月 5年 H28 直し	10月 5年 H28 直し	11月 5年 類似問題	12月 5年 H28問題	1月 4年 過去問題	2月 4年 過去問題	3月 4・5年 学期末テスト
学年・方法							
目標値			80%	85%	80%	80%	85%
実施後数値			75%	80%	79%	79%	84% (4年) 79% (5年)

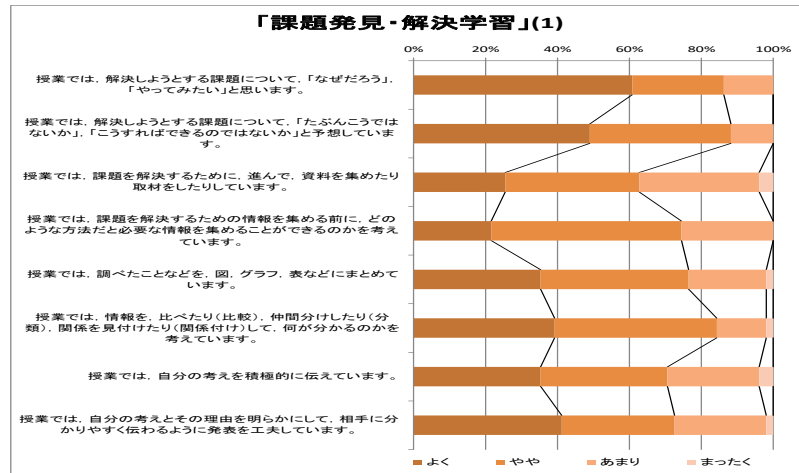
来年度に向けて

基礎・基本的な理科用語を繰り返し学習する機会を設け定着を図る。

磁石と電気の物質に対する性質を活用した実験やものづくりを通して、結果の要因や改善点を考えることで理解を深めさせる。

2 質問紙調査 (「基礎・基本」定着状況調査：児童質問紙調査) (全国学力・学習状況調査：児童質問紙調査)

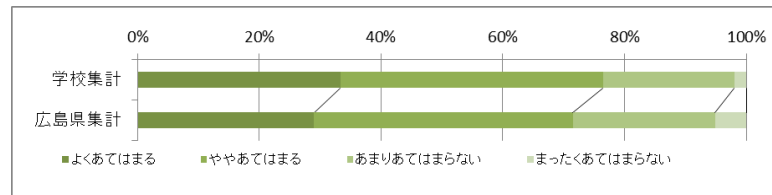
(1) 生活・学習



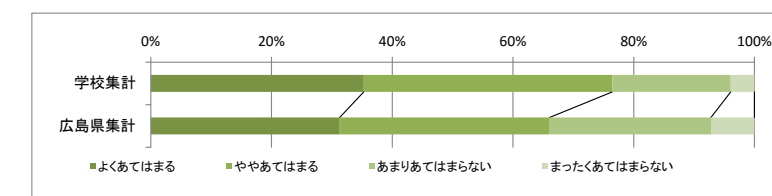
	児童の回答についての課題 (現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
基礎・基本	授業では、課題を解決するために、進んで、資料を集めたり取材をしたりしています。(62.7%)	自分たちで調べて解決する学習活動を意図的に仕組み、進んで資料を集めたり、取材したりする力を付ける。	5	75%	児童アンケート	12月2月	83%	1.3
全国	友達の前で自分の考えや意見を発表することが得意である(肯定評価51.0%)	学校生活のあらゆる場面で、日常的に自分の考えを発表する機会を設定するとともに、具体的な評価やアドバイスをすることで自信をもたせる。	6	65%以上	児童アンケート	12月2月	77%	1.5

(2) 教科

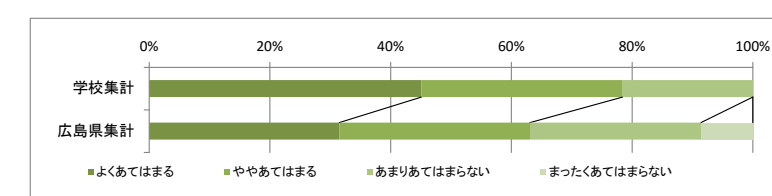
国語の授業の中では、伝えたいことの中心がうまく伝わるように、話の組み立てを考えて話したり、話の中心を考えながら聞いたりしています。



算数の授業では、とき方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明しています。



理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています。



	児童の回答についての課題 (現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	基礎・基本	国語の授業では、伝えたいことの中心がうまく伝わるように、話の組み立てを考えて話したり、話の中心を考えながら聞いたりしています。(肯定評価76.5%)	5	80%以上	児童アンケート	12月2月	81%	1.1
	全国	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり書いたりしている。(肯定評価64.7%)	6	75%以上	児童アンケート	12月2月	86%	1.3
算数	基礎・基本	算数の授業では、とき方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明しています。(肯定評価76.5%)	5	80%以上	児童アンケート	12月2月	87%	1.1
	全国	調査問題の解答時間は十分でしたか。(算数B)(肯定評価51.0%)	6	65%以上	児童アンケート	12月2月	88%	1.7
理科	基礎・基本	理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています。(肯定評価78.4%)	5	80%以上	児童アンケート	12月2月	82%	1.0